

北海道統括支店 道東地域より新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。ご家族共々新春をお迎えの事と思います。

日頃弊社の製・商品をご愛顧賜りありがとうございます。

昨年を振り返りますと、3月11日に発生した東日本大震災に続き、東京電力の放射能飛散により現在でも避難生活を強いられ、懸命に復興に携っている方々の労苦に対し、頭の下がる思いで報道を見入っている所です。それらの影響は北海道畜産にも大きな影響を及ぼしている現況にあります。また、9月には台風による被害、特に道東地区においてとうもろこしの倒伏および長雨によると思われる病害の発生、また畑作物の減収等大きな損害をもたらしました。それらは酪農家で必需品となっているビートパルプの生産にも影響を及ぼし、ビートパルプ生産量も昨年の13.7万トンに引続き3年連続の不作との報告もあります。

生乳生産量においても一昨年の猛暑の影響により分娩が遅れ、平成23年11月末現在も道東地区累計の生乳生産量は1,973千トン(昨年実績比99.5%)で推移しております。しかし10月下旬より生産量も回復基調にあり今後の生産量増加に期待がもたれます。一方、ホクレン受託酪農家戸数は平成22年11月末と比較して136戸減少(97.2%)しております。酪農家の減少は平成17年と比較しましても570戸(90.2%)減少しており、この傾向は今後も続くものと考えられます。

昨年からTPPへの交渉参加協議を始めるとの報道が賑わしておりますが、北海道酪農、畜産農家への影響は計り知れず、参加を行った時には大きなダメージを受けることは必死であり、一次産業を取り巻く業種も大きな影響を受けると考えられ、参加阻止を皆さんと共に訴えて行きたいと思いますが、昨年以上の試練の年になると思われます。

弊社は輸入穀物の乱高下は農家経済に打撃を与えることから以前より良質粗飼料生産への重要性を唱え、草地の植生改善を中心とした簡易更新技術の確立、アルファルファ混播による高栄養価粗飼料生産等微力では

ありますが皆様のお役に立てる様邁進しております。

また、良質サレージ調製に欠かすことが出来ない乳酸菌も、従来品より更に発酵品質を良好に保つための菌種を利用したサイレージ添加剤(製品名「サイマスター」)を今年度より発売させていただきますので、最寄りの営業所へお問合せ願えれば幸いに存じます。

今年も継続して良質粗飼料生産に向けて取り組みますので、皆様の経営の一助にして頂きたいと思っております。

一年間の農作業の無事とご家族のご健勝をお祈り申し上げます。

北海道統括支店(道東地域担当)

副統括支店長 深瀬 公悦

雪印種苗株式会社

編集発行人 岡村 一範
本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号

TEL (011)891-5911

FAX (011)891-5774